

第1学年学級活動 学習指導案

日時 平成18年10月17日(火) 4校時
 場所 1年教室
 児童 1年生 男子1名 女子3名 計4名
 指導者 T1 講師 澤口 志穂
 T2 養護教諭 小田嶋 祐子

1 題材名 やさいのひみつ

2 題材について

(1) 設定の理由

本題材は、内容A学級活動(2)「日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること」の、心身ともに健康で、安全な生活態度の形成、学校給食と望ましい食習慣の形成をめざすものである。

人が生きていくための最も主要な行為、それは食べることである。私たちは1日3回の食事を毎日繰り返しているが、その中の1回は給食、2回は家庭での食事となる。家庭での食事は、どちらかといえば、子どもの嗜好に合わせて作られることが多い。そのため、食事は肉料理が多く、魚や野菜等を使った料理が少なくなっているという傾向がある。心身共に健康な体をつくるためには、好き嫌いをしないで、赤・黄・緑の食品をバランス良く、楽しく食べることが大切である。

成長期の子ども達にとって好きなものばかりを食べたり、嫌いなものを全く食べなかつたりすると、自分の体はどうなるのかを考えさせることは意義深いと考える。そうすることで、家庭での食事を見直し、食べ物が健康の維持や体の成長のために大きな役割を果たしていることを理解させていきたい。

そこで、ここでは、作り手であるお家の方々の話を聞いたり、野菜とふれ合う体験をしたりする活動を通して、より食べ物に関心をもち、苦手な野菜でも食べることができるようになればよいと考え、本題材を設定した。

(2) 児童の実態(男子1名 女子3名 計4名)

調査実施日 平成18年8月31日

調査項目	児童の回答	親の回答
1(自分又は子どもが)好きな食べ物は何ですか。(1人3つ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ごはん(2)・デザート(2) ・カレー・肉じゃが・牛乳・果物 ・ぎょうざ・ハンバーグ・シチュー ・うどん 	<ul style="list-style-type: none"> ・肉(2)・ハンバーグ・シチュー ・ナポリタン・ハンバーグ・刺身 ・納豆巻き・昆布のおにぎり・麺類 ・グラタン・焼き魚
なぜ、その食べ物が好きですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・おいしいから ・おうちでよく食べるから ・肉が好きだから 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べやすいから・肉が好きだから ・親が好きだから・家でよくつくるから
2(自分又は子どもが)嫌いな食べ物は何ですか。(1人3つ)	<ul style="list-style-type: none"> ・なす(3)・にんじん(2) ・きのこ(2)・ピーマン・魚 ・さといも・キャベツ・たけのこ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピーマン(3)・きのこ(2) ・野菜類・ほうれん草・ねぎ・なす ・キャベツ・たまねぎ・骨の多い魚
なぜ、その食べ物が嫌いですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・苦いから・辛いから ・おいしくないから ・においが嫌だから 	<ul style="list-style-type: none"> ・味が嫌だから・親が嫌いだから ・苦いから・味が無いから ・食べにくいから・辛いから
3嫌いな食べ物が出てきたとき、(子どもは)どうしますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ食べる(2) ・先生が決めた分を食べる ・一口だけ食べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・全部食べさせる ・親が決めた分を食べる ・一口だけ食べる ・一口だけ食べて、頑張れそうなら増やす
なぜ、嫌いでも食べようとするのですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・残してはいけないから ・がんばりたいから ・残すとばちがあたるから ・体に良いから 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きくなるためと言いたいが、親から言われるから ・ほめられたいから ・体に良いとわかっているから
4子どもが嫌いな食べ物を調理するときに、工夫していることは何ですか。	/	<ul style="list-style-type: none"> ・細かく切り、好きな食材と混ぜる<カレー、ハンバーグなど>(4) ・父親がうまく勧める ・味付けを子どもの好みにする

子どもたちの嫌いな食べ物を調べてみると、野菜類がもっとも多い。主に嫌いな野菜は、なす、にんじん、ピーマンなどであり、色の濃いものを苦手とする子が多いようである。嫌いな理由を尋ねると、味、食感、匂いなどをあげ、独特の青臭さや苦味などに、野菜嫌いの要因があるようだ。

その対応策として家庭では、子どもの嫌いな食べ物は、細かく刻んだり、子どもの好きな味付けにしたりと工夫しながら調理していることが分かる。また、食べられない野菜がある場合、子どもをほめたり、励ましたりしながら食べさせているようである。

また学校では、どの児童も、毎日給食の時間を楽しんでいるが、食事の様子を見ると、好きなものはおかわりをして食べている反面、嫌いなものは進んで食べようとしていない。特に野菜類は嫌いな子が多く、残してしまいがちである。嫌いなものでも食べようと努力することによって、教師からほめられるために児童はがんばっているが、野菜が体にどんなよい効果を与え、何のために食べなければならないかを知っている児童は少ないようである。

(3) 指導について

この題材では、健康な体をつくるために好きなものだけではなく、苦手な野菜でも食べようという意欲をもつことをねらいとしている。ここでは、どんな野菜にどんな働きがあるのかを知り、お家の方の思いや願いを聞くことで、元気で大きくなるために嫌いなものでも食べようとする意欲をもてるようにさせたい。

味覚が大人に比べて敏感な子どもたちにとって、野菜の青臭さや泥臭さをおいしいと感じるのは、なかなか難しいと思われる。しかし、野菜は緑色の栄養素として毎日摂取することが望ましく、食生活に欠かせないものとして位置づけられている。毎日を元気に過ごすためにも、体によい、見た目にも美しい色とりどりの野菜を好き嫌いなく食べることができるようしていきたいと考える。

事前に児童の実態を知るために、食べ物の好き嫌い調査を行う。

本時において、導入では、苦手な野菜に対して関心をもてるように、めあての提示を工夫する。

次に展開では、野菜好きの「さるた君」と野菜嫌いの「はし子ちゃん」の物語を人形劇で行い、野菜と体の関係について、楽しく興味をもって学習できるようにする。引き続き、野菜の体への働きについて養護教諭から話を聞き、健康を保つには野菜が大切な食べ物であることを理解させるようにする。そして、はてなボックスを使い、実物の野菜に触れながら、働きを確認する。その後、ビデオレターでお家の人の願いや思いを伝えることにより、苦手な野菜でも食べようという意欲をもたせたい。

最後には、今後のめあてを発表させ、苦手な野菜でも食べようという意欲をもち、「やさいとなかよしカード」を使い、学校と家庭で取り組んでいくことを伝えたい。

3 目標 健康な体をつくるために好きなものだけではなく、苦手な野菜でも食べようという意欲をもつ。

4 食育との関わり

心の育成：工夫して調理してくれるお家の人たちの気持ちに気付くことができる。

自己管理能力の育成：体の健康のために、苦手な野菜でも進んで食べようとする。

5 指導計画(1時間)

時間	主な活動	教師の支援	評価規準と方法
事前	・好き嫌い調査をする。	・給食時間など、児童の様子を観察する。	・自分が好きなものや嫌いなものがわかる(観察)
学活 (本時)	・苦手な野菜の働きや、それを調理してくれるお家の人の気持ちを知る。	・野菜の働きについて考えたり、お家の人の話を聞いたりしながら、苦手な野菜でも食べてみようという気持ちをもたせる。	・野菜の働きを知ることができる。(発言・観察) ・苦手な野菜でも食べようとする意欲をもつことができる。(発言・観察・シート)
事後	・給食時や家庭で、苦手な野菜を残さないで食べるようにする。	・野菜の働きや、調理している人の気持ちを思い起こさせ、苦手な野菜を残さないように声かけをする。	・苦手な野菜でも食べようとしている。(観察)

6 本時の指導

(1) 目標

・健康な体をつくるために好きなものだけではなく、苦手な野菜でも食べようという意欲をもつ。

(2) 仮説との関わり

・児童が興味をもって食生活を考える協力指導を工夫する。

・児童の実態に合わせて、興味をもち続けるような教材を工夫する。

(3) 展開

過程	学習活動	予想される 児童の反応	指導態 指 形		教師の支援と評価	教材・ 資料等
			T1	T2		
導 入 3 分	1 本時のめあてをつかむ。 やさいのひみつをしろう。		全体 指導	観 察		
展 開 32 分	2 野菜を食べるとどんなよ いことがあるかを考えて発 表させる。	・ おおきくなる。	全体 指導	観 察	・ 家の人がいつも言っていること や、聞いたことなど自分のもって いる知識を発表させる。	人形 弁当の絵
	3 野菜の働きについて3つ の重点にしぼり、人形劇を する。 ・ きちんとうんちをだす ・ かぜをひきにくくする ・ めがよくなる	・ おもしろい。 ・ さるたくんは、 えらいね。 ・ やさいをたべな いと、だめなん だね。		全 体 指 導	・ 養護教諭と協力し、野菜の働き についての人形劇を行う。 (野菜をよく食べるさるた君と、食 べないはし子ちゃんの物語)	
	4 はてなボックスを使い、 野菜の名前当てをし、野菜 の働きについてのクイズを する。	・ つるつるしてい るからナスだ。 ・ にんじんのはた らきは、これだ。			・ 1人2回程度、野菜を取り出せ るように、最低8種類の野菜を入 れておく。 ・ 児童が野菜を取り出したつど、 本人や周りの児童に、その野菜が 好きか嫌いかを尋ねる。また、そ の理由も聞く。	箱 布 野菜 (なす、 ピーマン、 にんじん など)
	5 ビデオレターで、子ども が苦手な野菜を調理する時 のお家の方の工夫や願い を伝える。 ・ 体のことを考えて工夫 して作っている。苦手な 野菜でも残さず食べて欲 しい。	・ おかあさんは、 がんばってるん だなあ。 ・ にがてなやさい でもたべよう。		観 察	・ お家の方に、子どもが苦手な野 菜の調理の工夫や、野菜を食べて ほしいという願いを話していただ き、ビデオにまとめる。 ・ お家の人の思いをわかりやすく 板書する。	カード ビデオ
ま と め 10 分	6 本時のまとめをする。 ・ やさいをたべると、3 つのよいことがある。 ・ けんこうのために、た べてもらいたいとねがっ ている。		全 体 指 導			
	7 やさいとなかよしカード に取り組むことを知る。	・ のこさないで たべたい。 ・ からだのため にたべたい。			・ 自分のめあてを書くように支援 する。 苦手な野菜でも食べようとする 意欲をもてたか。	カード

(4) 評価規準

評価規準	評価方法	具体の評価規準		「C 努力を要する」 児童への具体的支援
		「A 十分満足できる」	「B 概ね満足できる」	
・ 苦手な野菜でも 食べようとする 意欲をもつこと ができる。	観察 発言 シート	健康な体をつくるた めに苦手な野菜でも食 べようとする意欲をも ち、自分でめあてを決 めてワークシートに進 んで書くことができる。	健康な体をつくるた めに苦手な野菜でも食 べようとする意欲をも つことができる。	野菜のはたらきや、調 理してくれる人の気持 ちなどを丁寧に説明し、 野菜の食べ方について アドバイスする。

(5) 板書計画

やさいのひみつを しろう。

人形劇の内容

野菜のはたらき

うんち

げんき

目

お家の方の願い

にがてなやさいでも がんばって たべよう！